

ビジネス支援型の公共図書館が提供する医療情報

草階彩香

札幌市図書・情報館

札幌市図書・情報館は、札幌の中心市街地に建てられた複合施設の中にある公共図書館。「はたらくをらくにする。」というコンセプトを掲げ、メインターゲットを働く世代に据えた課題解決型図書館である。当館は従来の公共図書館とは異なり、資料の貸出を一切行っていない。それはビジネスユーザーが「今」知りたい情報を「今」知れる環境を整えるためである。取り扱う資料のジャンルは大きく【WORK（仕事に役立つ）】、【LIFE（暮らしを助ける）】、【ART（芸術に触れる）】の3つで、医療情報に関しては【WORK】【LIFE】に内包される。

●【WORK】医療ビジネス/ヘルスケアビジネス/福祉・介護ビジネス

「医療ビジネス」「ヘルスケアビジネス」と題した棚は医療従事者に向けたコーナーである。クリニックの開業や法令情報、患者獲得に向けたマーケティング手法まで、病院経営に関する本を多数所蔵するほか、実務に活用してもらえるように医師・看護師・栄養士・リハビリ専門職・公認心理師など様々な職種を対象とした専門書を揃えている。チーム医療にも役立つように「福祉・介護ビジネス」と隣接した棚の構成となっている。

また、医学文献情報データベース『医中誌 Web』を提供しており、現役看護師の利用が多くみられる。

●【LIFE】医療・健康情報

患者やその家族へ向けた情報を集めたコーナーには入門書だけではなく、診療ガイドラインをはじめとした最新治療に関する医学書も診療科目ごとに並べている。こころの健康にも焦点を当て、うつ・依存症・適応障害などの本も積極的に収集している。メンタルケア、リハビリや再発防止、治療費、治療と仕事の両立といった、病気そのものから派生して患者が抱える悩みにも寄り添うことを目指している。【LIFE】にも医学書が多いことから医療系の学生たちの自主学習にも活用されている様子が見える。

●これまでの連携事例

北海道がんセンターのがん相談支援員や、乳がん罹患した自身の経験を生かして「大人のがん教育」を発信し続ける方などを講師に招き、がんに関するセミナーを開催。また、令和6年度から札幌市保健福祉局ウェルネス推進部と連携したイベントや展示を開催し、働く世代に向けて健康に関する情報の発信を続けている。